

## 仕事算（つるかめ算含む）

A が 1 人ですると 25 日、A と B の 2 人ですると 15 日かかる仕事があります。この仕事を A が何日かしたあと、B に交代したところ全部で 30 日かかりました。A は何日仕事をしましたか。

2 種類混じっているとき…つるかめ算です。  
中学受験の定番です。  
仕事算とつるかめ算という基本的な組み合わせの問題なので、  
きっちり解けるようにしましょう！

## まずはこう解け！

**Step1** 全体の仕事量 (の比) を日数の最小公倍数でおく！

**Step2** 1日あたりの仕事量を求める！

**Step3** つるかめ算で計算！

➡全体の仕事量は比として考えることが多いので、ここでもそれに従いますが、わかりづらい人は「〇個をつくる仕事」として、具体的に考えても良いです。

### 😊 解き方

全体の仕事量 (の比) を日数の最小公倍数でおく。

25 (日) と 15 (日) の最小公倍数 75 を全体の仕事量 (の比) とする。

$$\text{全体} = \textcircled{75}$$

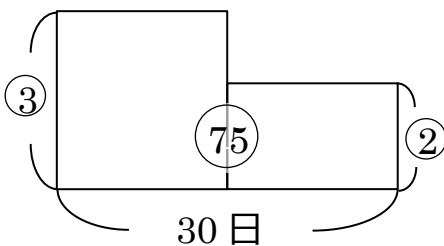
1日あたりの仕事量を求める。

$$A \times 25 = \textcircled{75} \text{ より } A = \textcircled{3}$$

$$(A + B) \times 15 = \textcircled{75} \text{ より } A + B = \textcircled{5}$$

$$\text{よって } B = (A + B) - A = \textcircled{5} - \textcircled{3} = \textcircled{2}$$

つるかめ算で計算する



$$(\textcircled{75} - 30 \times \textcircled{2}) \div (\textcircled{3} - \textcircled{2}) = 15$$

**答え** 15 日